

産学連携の失敗から学ぶ：ある特許ライセンス訴訟の教訓

大学発ベンチャーと化学メーカーが、10年以上の協力関係を経て特許ライセンス契約を締結。
しかし、契約一時金4,500万円の支払いを巡り訴訟に発展。最終的に、契約の特殊な条項が原因で大学側が敗訴した事例。

なぜ連携は破綻したのか？
訴訟が明らかにした3つの要因

失敗を繰り返さないための3つの教訓

